

平成28年度 第一期生

訓練成果報告及び今後の課題

職人育成塾



一般社団法人

利根沼田テクノアカデミー

「職人育成の町」 沼田市デルタモデル



人材の
確保・育成



利根沼田
テクノアカデミー



地域活性化



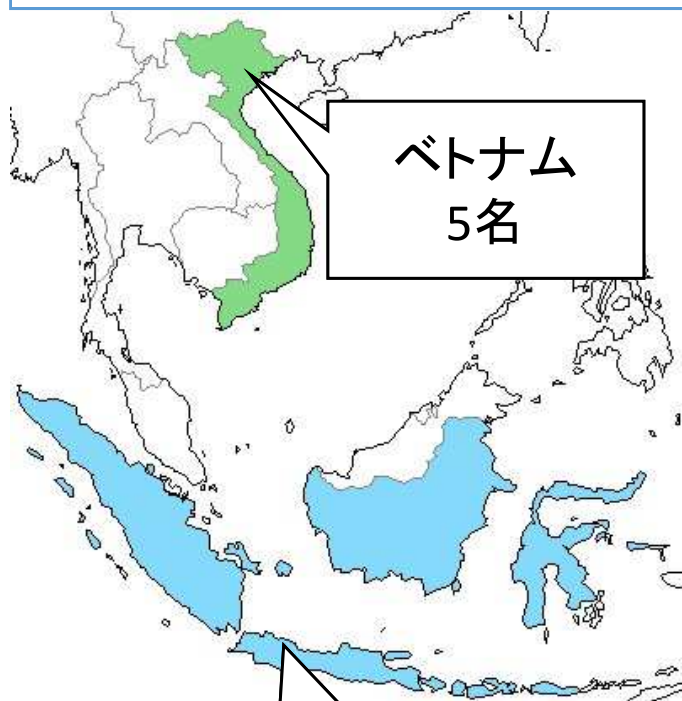
遊休施設活用

平成28年4月1日 訓練スタート

板金コース 18名
瓦コース 8名

計 26名

海外研修制



ベトナム
5名

インドネシア
5名

岡山県
1社1名

群馬県
3社7名

新潟県
3社5名

福島県
1社1名

香川県
1社1名

愛知県
2社8名

静岡県
1社2名

東京都
1社1名

8県11社から参加

短期育成の速習法



実践的訓練に即した設備

実践をイメージした10種類の訓練設備を用意し、それを繰り返すことで体に覚えさせます。



ものづくりの楽しさを伝える

工作訓練に力をいれ、ものづくりの楽しさを知ってもらうと同時に実際の屋根の施工に必要な技能を身に着けます。

各訓練の様子

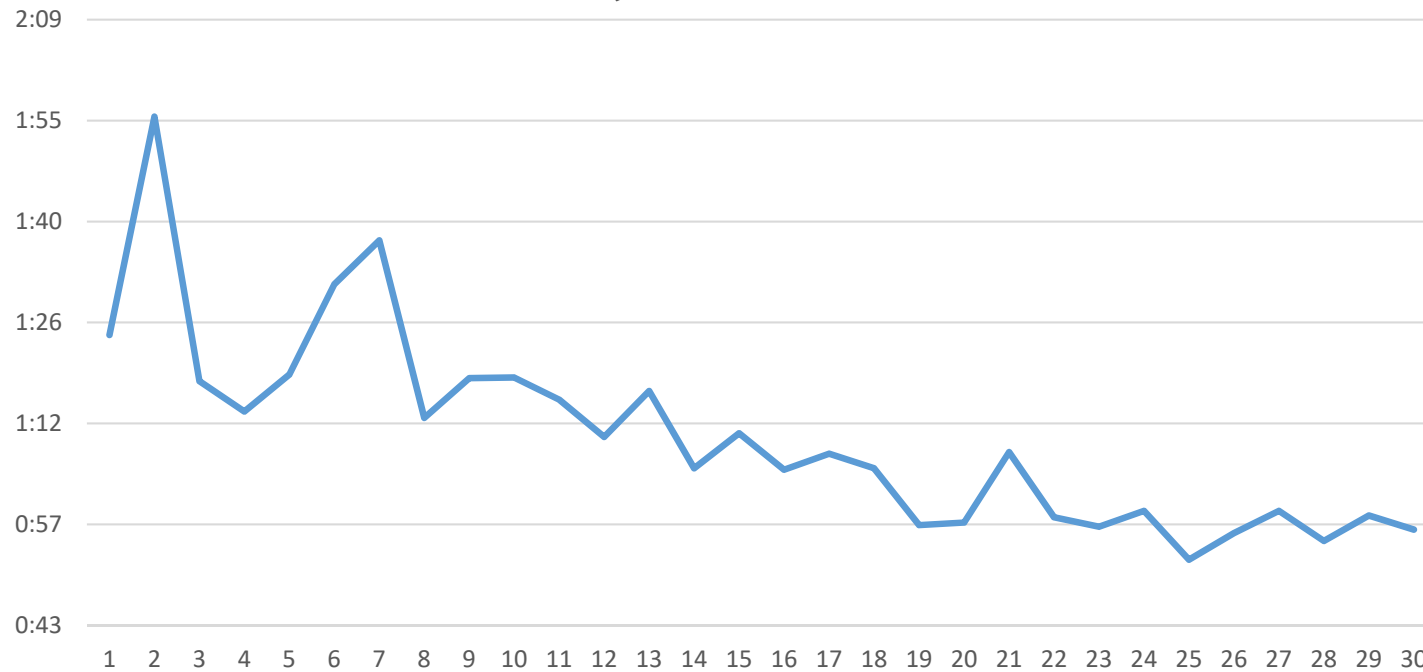


平均タイムの推移



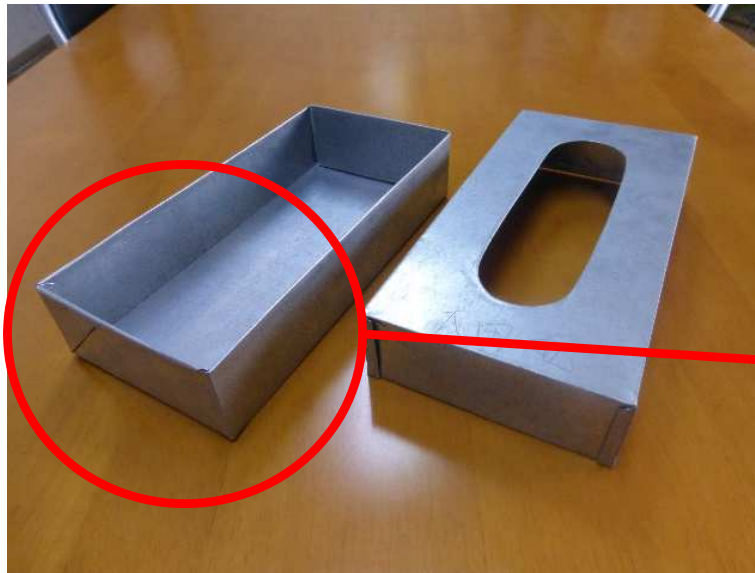
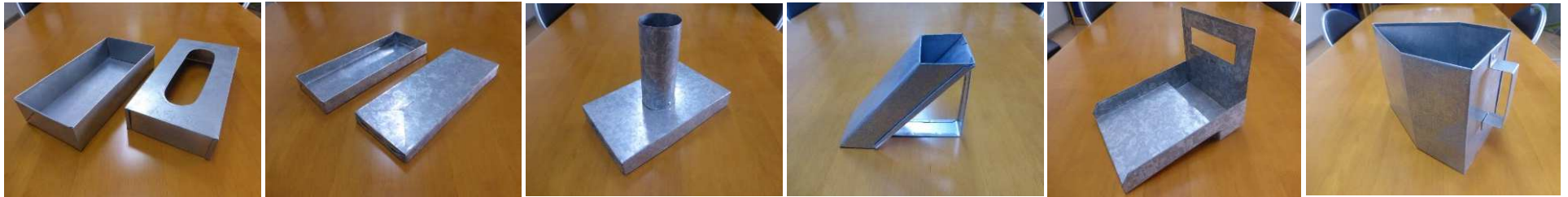
ハサミ 0.5mm

タイム差



-37秒

工作訓練



例えば、ティッシュケースの側面は、瓦棒葺きの八千代折を習得するためのものです。折るポイントを覚えます。

第2期に向けての流れ

大エコース・設備コースの設立準備



群馬県より認定訓練の認定



キャリア形成助成金及び
建設業労働者確保育成助成金の申請内容確認



全国より訓練生の募集



第2期生の訓練スタート

課題

訓練生の確保	来年の目標は板金20人・瓦10人・大工5人・設備10人の計45名を予定しています。確保のためのルート開拓や手法を行っているが、毎年積極的な営業をかけなくては集まらない状況。
海外研修生の助成金について	日本人の場合は大臣認定により受講料以上の助成金を得られるが、海外研修生は大幅に下回ります。送り出す企業に負担にならないように対策を考えています。
新コースの設備などの負担が大きい	大工と設備のコース設置について、約800万円ほどの訓練設備を新設する予定であり、各コースの利益から捻出するために調整中です。
講師の育成	講師が高齢のため、若手に継承していきたいと考えています。第一期生の中から3か月間出向してくれる人員を考えていますが、不安定な状況です。